

簡易入札（見積競争）公告

1. 簡易入札（見積競争）に付する事項
電位差自動滴定装置の購入
2. 競争に参加する者に必要な資格に関する事項
 - ① 国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所契約事務取扱細則第31条の規定に該当しないものであること。ただし、未成年者、被保佐人又は被補助者であって、契約締結のために必要な同意を得ている者については、この限りでない。
 - ② 簡易入札時において、国土交通省から指名停止処分を受けていない者であること。
 - ③ 経営の状況又は信用度が極度に悪化していないと認められる者であり、官公庁、独立行政法人及び教育・研究機関等における本件に類する履行実績を有し、当所に対する適正な契約の履行が確保される者であること。
 - ④ 警察当局から、暴力団員が実質的に経営を支配する者又はこれに準ずるものとして、国土交通省公共事業等からの排除要請があり、当該状態が継続している者でないこと。
3. 契約条項を示す場所
〒181-0004 東京都三鷹市新川6-38-1
国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所 総務部会計課契約係
T E L 0422-41-3489
F A X 0422-41-3242
M a i l kani_keiyaku@m.mpat.go.jp
4. 簡易入札説明会を開催の有無 無
5. 簡易入札執行に関する説明事項及び仕様書の配付場所
説明事項はHP掲載、仕様書は添付ファイルのとおり
6. 簡易入札執行に関する説明事項及び仕様書に対する質問の受付
質問は、文書（書式自由。ただし、A4版とする。）により行うものとし、持参、郵送（ただし、受付期間内に必着のこと。）、FAX、Mailのいずれの方法でも可能とす。ただし、FAXの場合は着信を確認すること。なお、文書には、回答を受ける窓口の部署、氏名、電話及びFAX番号、電子メールアドレスを併記すること。
 - ① 担当部署 3. と同じ
 - ② 質問の受付期間
令和5年9月29日（金）10時00分 から
令和5年10月3日（火）16時00分 まで
（持参の場合は、期間中の土・日・祝日を除く毎日の10時00分から16時00分まで）
7. 見積書の提出方法、提出先及び提出期限（※必ず見積書の原紙を提出すること）
提出方法：簡易入札執行に関する説明事項による。
提出先：3. と同じ
提出期限： 令和5年 10月4日（水） 12時00分 まで
なお、見積書の提出は、2. に掲げる競争に参加する者に必要な資格に関する事項を全て満たすことを前提とし、確認のためのヒアリング若しくは資料提出等を求める場合があるので、その場合に対応できる体制であること。
8. 簡易入札保証金に関する事項
免除
9. 見積書の無効
本公告2. に示した競争参加資格の無い者が提出した見積書及び見積競争に関する条件に違反した見積書は無効とする。
10. その他
 - ① 契約保証金に関する事項 免除
 - ② 見積競争の結果、予定価格以下の見積書の提出がなかった場合は、7. に掲げる提出期限までに見積書の提出があった者から見積書の提出を求め、再度の見積競争をす。再度の見積競争をもっても予定価格以下の見積書の提出がなかった場合は、7. に掲げる提出期限までに見積書の提出があった者から、見積書を再々度の提出を求めることがある。

令和5年 9月28日

国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所
契約担当役 海上技術安全研究所長 峰本 健正（公印省略）

※本件に関するお問い合わせ先

国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 総務部会計課契約係

仕 様 書

1. 件名及び数量

電位差自動滴定装置の購入 1 式

2. 概要

本件は船用燃料油およびバイオ燃料の全酸価を計測することが可能な電位差自動滴定装置（以下、当該装置）の購入に関するものである。

3. 仕様

当該装置は、燃料等のサンプルの全酸価を ASTM D664 および JIS K2501 に基づいた電位差滴定法により、プロパノール性水酸化カリウム溶液で自動滴定し、滴定曲線上に得られた変曲点を終点として得て、その滴定量から全酸価を算出することができるものである。

AT-710M 電位差滴定装置相当品とし、以下の仕様を満たすこと。

- a) 検出範囲は以下であること
 - i) 電位差：-2000 ~ +2000 mV
 - ii) pH：-20.000 ~ +20.000 pH
 - iii) 温度：0~100 °C
- b) ビュレット容量は 20 mL であり、ビュレット精度は±0.02mL、再現性は±0.01 mL であること
- c) 検出電極は非水滴定用複合ガラス電極を有すること、また電極内部液(塩化リチウム溶液エタノール溶媒 250mL)を付属すること
- d) 自動で滴定を行い、全酸化の算出ができること
- e) データを 500 検体記憶できること
- f) プリアンプは pH(mV)と mV など 2 つの異なる電位を同時に記録可能であること
- g) 測定装置の拡張性があり、当該装置と同様の装置および水分計の何れか 3 台が増設可能であること
- h) 操作部はタッチパネルを有し、ダイレクト操作が可能であること
- i) 保護シート、ドットマトリクスプリンター、中和滴定用ガラス電極、温度補正電極、電極ケーブル、マグネチックスターラー、ビュレットユニット、保証書を付属すること
- j) 使用環境が周囲温度 5~35°C、相対湿度 85%RH 以下(結露しないこと)に対応できること
- k) 電源は AC100-240V±10%、50Hz/60Hz であること
- l) 電極と電極ケーブルは分離型で、環境に配慮した設計であること
- m) チューブは試薬リーク時に眼や手に飛散しないよう二重になっていること
- n) 試薬吐出ノズルはテフロン製とし、測定時にビーカーと接触し割れないものを使用すること
- o) 前処理用滴定溶媒を自動注入するため、ツインビュレットであること
- p) 納入後、AT-710 工場トレーサビリティ点検を行い、校正証明書を提出すること
- q) 据付調整を実施すること

4. 納入場所

東京都三鷹市新川 6-38-1

国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所

海上技術安全研究所 環境・動力系 10 号館

5. 納期

2024 年 1 月 31 日（水）

6. 監督

監督職員が必要と認める事項について適宜監督を行う。

監督職員：中村真由子

7. 検査

納入時に、検査職員が仕様に基づき検査を行う。

8. その他

受注者は不明な点については、監督職員と協議し、その指示に従うこと。